

平成23年度 決算報告書(補正予算有)

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,012	5,180	169	(注1)
うち補正予算による追加	1	1	-	
施設整備費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	108	180	72	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	26	26	-	
自己収入	2,345	2,335	△ 11	
授業料、入学金及び検定料収入	2,285	2,267	△ 19	(注3)
雑収入	60	68	8	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	696	616	△ 79	(注5)
長期借入金	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	8,187	8,337	151	
支出				
業務費	7,357	7,097	△ 260	(注6)
教育研究経費	7,357	7,097	△ 260	
施設整備費	26	26	-	
補助金等	108	180	73	(注7)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	696	706	10	(注8)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
計	8,187	8,009	△ 177	
収入-支出	0	328	328	

○予算と決算の差異について

- (注1)運営費交付金については、前年度から繰り越した額のうち使用額(338百万円)が当初の予定より多かったことに伴い、予算額に比して決算額が169百万円多額となっています。
- (注2)補助金等収入については平成22年度補正予算による設備整備費補助金の繰り越しや、予算段階では予定していなかった研究開発施設共用等促進費補助金などが交付されたことなどに伴い、予算額に比して決算額が72百万円多額となっています。
- (注3)授業料、入学料及び検定料収入については、主として当初の見込みより授業料の前倒収納額が減少したことに伴い、予算額に比して決算額が19百万円少額となっています。
- (注4)雑収入については、不用物品の売払代金や特許等の譲渡契約に基づく譲渡料が増加したこと等に伴い、予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。
- (注5)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金収入等が当初の予定より13百万円増加した一方、産学連携等収入が当初の予定より92百万円減少したことに伴い、予算額に比して決算額が79百万円少額となっています。
- (注6)業務費については、学内プロジェクトによる事業の繰延べや、業務実施にあたり経費の節減に努めたこと等により、予算額に比して決算額が260百万円少額となっています。
- (注7)(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が73百万円多額となっています。
- (注8)教員の転出に伴う寄附金の移管等に伴い、予算額に比して決算額が10百万円多額となっています。